

道心

社会福祉法人



茨城県道心園

児童養護施設 道心園東ホーム

道心園西ホーム

児童家庭支援センター

子ども家庭支援センター「どうしん」

平成30年 6月30日 発行

〒300-0061 茨城県土浦市並木三丁目18番5号

TEL 029-821-2575 FAX 029-824-8740

発行責任者 理事長 河田 茂



平成29年度事業報告

はじめに

平成29年度は、茨城県道心園創設76年を迎え、全棟の改築工事が無事完了することが出来ました。これもひとえに日頃よりお世話になっている関係各位のご努力の賜物と感謝申し上げます。

今年度は新園舎に伴い、職員の働き方について考える一年となりました。特に食事の面では厨房調理からユニット調理になり、色々な戸惑いがあり、色々なやり方を実践してきましたが、課題が残り次年度には給食特別委員会を設置し検討していきます。

3年ぶりに第三者評価を受審し、アンケート調査結果、評価結果を真摯に受け止め当法人としての課題を今後どのように対応していくかを考えていきたいと思います。定例の第三者委員会については、年4回開催し、子どもたちからの色々な意見等を吸い上げてきました。特に大きな問題や苦情もなく、子どもたちの関わり方については丁寧な対応に心掛けてきました。入所状況に関しましては、茨城県からの入所がほとんどない状況です。その現状と将来構想をふまえて次年度は東ホーム、西ホームの定員変更を考えています。また、人材育成については、職員の自己実現に配慮し個々の能力を発揮できる職場づくりを目指してきました。

今後、社会福祉法人に求められる役割のひとつの社会貢献事業に関しましても、当法人で何が出来ののかを考え、より具体的に進めていきたいと思っております。日頃よりお世話になっている沢山の支援者の方々に心より感謝し、今後の法人運営に向けて更に努力し子どもたちの幸せのために邁進していきたいと考えております。

児童養護施設 道心園東ホーム

1. 運営基本方針の取り組み

道心園東ホームとしては、平成29年度も園訓「道心」の心を目標に、児童が安全な環境のもと安心して生活が送れるよう職員が一体となり支援に当たってきた。

今年度は、小規模ユニットでの生活も2年目を迎え、大舎からの移行に伴い小規模での生活における良い面と課題がはっきり出てきたように思う。また、児童とのかかわりの中でも、職員への負担の軽減や情報の共有化のための取り組みも行なってきた。その中で、これまでと変わらず、より良い支援を行なう為に、子どもに寄り添い、より理解を深めていく大切さを研修や話し合いを重ねることで対応してきた。小規模でできる事、これまでの大切にしてきた相手を思いやる気持ちや助け合い認め合う心を確認しながら過ごした一年であった。子ども達の声は、意見箱への投書や、話し合う事の習慣化により意見表明や問題解決へとつながることができたのではないかなと思われる。

また、高齢児の進路や家庭復帰予定のケース、問題行動については、児童相談所等の関係機関との連携を図り、話し合いを重ねて取り組んできた。職員の人材育成や勤務体制については、今後も継続した課題として残ったが、引き続き時間をかけてより良いものを作りたい。

2. 施設の運営管理

(1) 安全管理と事故対策

施設生活において、安心・安全な生活を保障する為に、環境整備や事故防止のための話し合いをもってきた。寮会・ホーム会では、必ずヒヤリハットの報告を実施し、その都度振り返りや再発防止のための検討をおこない、職員の意識の改善につなげてきた。今年度も、新園舎における安全管理や事故対策に継続して取り組んできた。

(2) 防災管理

「防火管理規定」に基づいて防火管理の徹底を図るため、毎月の避難訓練を実施した。実施に当たっては、新しい避難経路の確認や安全管理について取り組み、情報の共有化を図った。

(3) 苦情解決

各ユニットに設置してある意見箱を毎月1日と15日に開けて、子どもからの意見や要望に対応した。子供同士のトラブルや職員への思いを引き上げ、職員の共通認識のもと処遇に当たった。子どもからの意見に関しては、所属しているユニットへの回答の掲示や、子どもへの返事を届ける事も行なってきた。保護者や地域からのご意見に関しては、常に真摯に受け止め、丁寧な対応をしていくと共に、第三者委員会でのアドバイスを頂きながら解決へと繋げていった。

(4) 人材育成

施設内外研修において、年間を通して計画的に取り組む努力をしていった。職員一人一人のレベルアップを図るとともに、研修会報告において職員の情報共有に努めた。研修のみに終わらず、日々の生

活の中での児童との関わりに活かしていけることを目標にしていた。また、施設長と職員との面接や話し合いを実施するように努めてきたが、まだまだ不十分と思われる。職員一人ひとりのニーズに合わせた人材育成に努めていきたい。施設外研修も積極的に出席できるように実施してきたが、小規模化が進むなか、勤務調整など難しい面も出てきている。今後の課題として日々の生活の中でのOJTを取り入れるなど、児童養護施設職員としての専門性を追求できるように研修計画を立てて行きたい。

(5) 記録管理

「児童記録支援システム」の確認を行い、情報の共有化と個人情報を守ることに関しては、繰り返し伝えあってきた。

(6) 保健衛生

施設内の衛生管理については、徹底した消毒やうがい・手洗いの励行を進めてきた。吐物処理研修を実施し、具体的な吐物・排泄物の処理方法を再確認し、感染予防に取り組んだ。慢性疾患や定期通院をしている児童の服薬・治療に関しては、安全確認や飲み忘れのないよう連携を図っていたが、より充実した取り組みが必要と思われる。ユニットでの食事提供も徐々にではあるが取り組んできていることから、更に感染予防に関する意識の向上に努めていった。

(7) 地域交流・支援

各小中学校との連絡会の定期的な実施と共に、担任や支援学級担当教諭と随時情報交換を行い、連携を図った。小学校の登下校には職員が巡回・見守りをする事で、地域との繋がりも持つことができた。育成会活動に関しては、廃品回収や行事などへの参加をし交流を持っていた。ショートステイの受け入れもあり、子ども家庭支援センター「どうしん」と連携を図り地域の子育て支援の一部を担うことができていた。

地域交流ホールを利用しての講演会も実施出来た。

(8) ボランティア

学習指導では筑波大生ボランティアによる学習指導では、児童の学習意欲や学力の向上に繋がった。児童一人ひとりに合わせた取り組みをする為に学期に一度の話し合いを持ち関わって頂く。また、布団作りや、理髪ボランティアの協力により児童の生活の向上が図られた。

(9) 実習生

保育士・児童指導員の養成のための実習生の受け入れを積極的に行った。事前のオリエンテーション・実習期間中の講義や反省会など、有意義な実習が行えるように支援してきた。

(10) 第三者評価受審

今年度は第三者評価の受審を行なった。結果に基づいた改善に努めていくための取り組みが必要と思われる。具体的な支援方法や基本理念の共通理解と共有化のため全職員で取り組んで行きたい。

児童養護施設 道心園西ホーム事業報告

1 道心園西ホーム運営基本

道心園西ホームは、園訓「道心」の心を基本理念とし、子どもたちへ具体的な内容を分かりやすく伝えてきた。今年度は、新園舎が完成し、改めて素晴らしい環境と住空間で生活出来ること、子どもたち、全職員、喜びと感謝の気持ちでのスタートとなった。年間を通して、各ユニットで特に大きな問題行動もなく落ち着いた生活が送れていたように思う。個々の発達課題においても、適切な支援を行い成果が出ていくように感じている。又、家族再統合に関しては2ケースが家庭復帰し、現在も安定した生活を送っているようである。職員相互のチームワークについても連携がはかれており、より適切な養育実践を行い子どもたちの「最善の利益」に少しでも近づけられるよう努力している所である。職員研修については、内部、外部研修の充実を図った。日々厳しい勤務状況の中で職員一人ひとりが向上心を持ってスキルアップに繋げることが出来た。

2 施設の運営管理

(1) 安全管理と事故対策

施設生活における安全管理と事故防止対策に関しては、ヒヤリハットメモを残し、常に職員一人ひとりが子どもたちの動向に目を向けていった。ヒヤリハットデータのまとめについては、今後の課題としたい。

新園舎の構造を理解しての防災、災害訓練の徹底や防犯対策については、日々不審者(学校からの情報もある)、不審車両等に対して注意を払っていき、子どもたちの安全を確保した。又、防犯教室も実施した。

(2) 苦情解決

5ユニットに意見箱を設置し、児童からの意見を聞くことを周知

した。(毎月1日、15日に開封した。)

日常的に児童の意見を聞く機会を設けると共に児童への説明と了解のシステムを構築した。また「生活のしおり」の中では、意見や苦情の受付等について明記し、その方法等についても児童に周知した。

今年度は、第三者委員会(6/9・9/27・12/11・2/6)を開催し、委員の先生方からの確かな助言を受けた。

今年度第三者評価を受審した。アンケート結果や評価結果を受けて、その内容について今後検討し改善していく。

(3) 防災管理

「防災管理規定」に基づき、防火管理の徹底を図った。

新園舎に伴っての、火災、地震、避難誘導方法の訓練内容について、防災安全特別委員会で検討し実施要項が出来上がり、毎月訓練を実施した。

(4) 人材育成

職員研修の充実と外部研修及び他施設交流研修を実施し、小規模化に向けた専門職としての人材の育成が少しずつ出来てきている。

直接処遇職員に対してのペアレントトレーニング研修を行い、養育スキルの共通理解が図れた。

児童支援上の問題を一人で抱え込まないよう風通しの良い職場環境を目指すことを目的として、職員と施設長の個別面接を年3回実施し、(5名の職員が2回実施)公私の意見交換をし、より前向きな職務意識を育成することが出来たと思われる。

(5) 記録管理

「児童記録支援システム」の改善点を検討し、システムを改良し、より効果的な活用及び更なる記録の充実を図ることが出来た。

(6) 保健衛生

施設内の保健衛生に十分配慮し、清潔な環境を保ち、常に入所児童の健康状態の把握に努めた。その結果、インフルエンザ、マイコプラズマ等の感染症を最小限に食い止めることが出来た。今回、0-157に小学男子が罹患し、保健所の指導の下迅速な対応をした結果、周りの子どもたちに感染が広がることは無かった。

感染症対策については、定期的な委員会を開催し、現状を把握し、対策を検討した。

性(生)教育委員会「ぼけっと」の活動を通して、児童に性(生)についての教育と啓蒙を展開し、成果を上げることが出来た。

(7) 地域交流・支援

町会、子ども会育成会の行事等に積極的に参加し、地域への理解を求め、地域の一員として活動した。小学校(年3回)、中学校(年2回)との連絡会議を開催し、児童についての情報交換を実施し、共通理解と連携を図ることが出来た。

子ども家庭支援センター「どうしん」と連携し、福祉ニーズを抱える住民の適切な支援の基点となるよう努めた。

施設長自ら地域の役員を務め、地域支援を実施すると共に施設の地域理解に努めた。

(8) ボランティア

筑波大生による学習指導のボランティアは、児童の学習意欲の向上に繋がった。児童一人ひとりに合わせた取り組みをする為、年に二回、話し合いの時間を設けた。布団作りや、理髪のボランティアの協力により児童の生活の向上が図られた。

(9) 実習生

実習生の受入れについては、引越しが終了した、二学期から宿泊実習のない形で県内、東京、埼玉から計7名を受け入れた。事前にオリエンテーション・実習期間中の講義や反省会などを実施し、児童養護施設への理解、興味を持ってもらえるよう働きかけた。

(10) アフターケア

今年度退所児童に関しては電話連絡、家庭訪問など実施し生活の様子を把握し、孤立化しないよう働きかけた。

退所生、またその保護者については、随時継続的に連絡をとり支援した。就職先を変えたり、住居が変わった場合には、出来るだけ連絡を取り合い、様子を見守るようにした。

(11) ライフストーリーについて

ライフストーリーとしては、児童の成長に合わせ、職員と共に写真整理等を実施しながら、生い立ちの整理を実施した。児童自身の存在する意味を見つめ直し、自己肯定感を高められるよう支援した。児童の希望と家族と考えを調整するために児相担当児童福祉司との連絡を密にし、担当児童福祉司から児童の生い立ちや父母の状況等を説明する機会を設けた。

子ども家庭支援センター「どうしん」実績報告

(1) 月別相談実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入人数	23	18	19	8	10	19	10	7	12	6	29	12	173
継続相談人数	0	28	34	31	33	37	38	42	46	31	28	36	393
月別相談実人数	32	46	53	39	43	56	48	49	58	37	57	48	566

(2) 月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	27	53	110	68	54	30	49	49	46	30	28	25	569
来所相談	20	30	34	21	25	26	32	29	15	13	11	23	279
訪問相談	0	14	16	14	1	19	7	3	19	2	26	9	130
心理療法等	15	27	27	18	13	19	22	21	15	9	11	12	209
メール相談	0	3	5	6	5	6	10	3	8	3	6	5	60
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	62	127	192	127	98	100	120	105	103	57	82	74	1247

(3) 相談・指導内容の種別延件数

養 護	虐待(再)	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	ＤＶ	その他	合 計
					性格行動	不登校	適 正	しつけ				
459	178	22	251	9	148	74	0	196	2	1	85	1247

(4) 相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所及び 児童相談所	学 校 等	家族 親戚	近 所 知 人	児 友 人	1 歳 以 上 入 所	里 親 子	そ の 他	合 計
児童 相談 所	福祉 事務所	そ の 他	保 護 所	そ の 他									
57	315	3	0	13	7	27	686	7	54	7	64	7	1247

児童相談所からの委託による指導

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	2	6	9	4	2	10	20	13	10	8	7	93
実人数										3	人	

業 種 (虐待(性))	保 健	障 害	非 行	性格行動	不登校	適 正	しつけ	いじめ	ＤＶ	その他	合 計
3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

市町村の求めに応ずる事業

事 業 名	実施回数	内 容
平成29年度石岡市公立保育所巡回相談	2回	公立保育所に市町村と訪問し、保育士の子ども対応向上のためのアドバイス
取手市児童虐待予防推進月間講演会	1回	11月の虐待防止月間に虐待防止を目的とした講演会の講師として派遣を依頼され実施した。
合 計	3回	

里親等への支援

事 業 名	実施回数	内 容
里親子サロン	13回	里親子の交流のためのサロンを主催
里親養育講座	8回	里親対象のペアレント・トレーニング講座を主催
地区里親会行事への参加	2回	各地区里親会主催行事に参加し、里親子への支援を行う
合 計	23回	

関係機関等との連携・連絡調整

事 業 名	実施回数	内 容
土浦市要保護児童対策地域協議会	5回	代表者会議、実務者会議、個別支援会議
つくば市要保護児童対策地域協議会	2回	個別支援会議
石岡市要保護児童対策地域協議会	1回	個別支援会議
阿見町要保護児童対策地域協議会	1回	個別支援会議
合 計	9回	

実績報告以外の研修講師等(実績報告集計外)

事 業 名	回数	内 容
ホームスタートビジター養成講座講師	2回	ボランティア養成講座講師
土浦市社会福祉協議会子育て支援ボランティア養成講座講師	1回	土浦市社会福祉協議会事業である、ファミリーサポートセンター事業におけるボランティア養成研修講師
土浦市子育て応援講座事業トレーナー養成講師	1回	土浦市公立保育所職員にどならない子育て練習法トレーナー養成講座を実施(8名×2回)
児童養護施設生園職員研修	1回	職員研修でどならない子育て練習法の講師派遣(8日間)

地域支援事業(実績報告集計外)

事 業 名	実施回数	内 容
子育て交流ひろば「ひなたぼっこ」	57回 181人	就園前の親子の遊び場・交流の場の提供と相談支援のきっかりづくり

社会福祉事業 事業活動内訳表

(自)平成29年4月1日(至)平成30年3月31日

勘定科目		拠点区分				内部取引消去	総合計
		法人本部	進心園 東ホーム	進心園 西ホーム	センター どうしん		
サービス活動増減の部	収入						
	児童福祉事業収益	0	188,200,967	188,691,536	13,138,000		390,030,503
	措置費収益	0	182,058,467	179,741,136	0		361,799,603
	その他の事業収益	0	6,142,500	8,950,400	13,138,000		28,230,900
	経常経費寄附金収益	1,800,000	794,312	654,311	0		3,248,623
	サービス活動収益計(1)	1,800,000	188,995,279	189,345,847	13,138,000		393,279,126
	人件費	142,552	136,340,233	131,055,009	10,489,402		278,027,196
	事務費	1,902,145	12,045,699	15,516,059	2,371,225		31,835,128
	事業費	0	31,015,945	37,558,896	0		68,574,841
	減価償却費	55,482	23,272,099	24,436,154	5,943		47,769,678
サービス活動増減の部	費用						
	国庫補助金等特別独立金取崩額	0	△7,039,896	△7,332,272	0		△14,372,168
	サービス活動費用計(2)	2,100,179	195,634,080	201,233,846	12,866,570		411,834,675
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△300,179	△6,638,801	△11,887,999	271,430		△18,555,548
	受取利息配当金収益	78	2,777	1,067	66		3,988
	その他のサービス活動外収益	1,655,000	6,330,043	6,092,912	15,000		14,092,955
	サービス活動外収益計(4)	1,655,078	6,332,820	6,093,979	15,066		14,096,943
	実払利息	0	357,170	339,522	0		696,692
	その他のサービス活動外費用	0	144,413	27,515	0		171,928
	サービス活動外費用計(5)	0	501,583	367,037	0		868,620
特別増減の部	収入						
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,655,078	5,831,237	5,726,942	15,066		13,228,323
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,354,899	△807,564	△6,161,057	286,496		△5,327,228
	施設整備等補助金収益	0	492,000	639,600	0		1,131,600
	拠点区分間繰入金収益	5,000,000	0	750,300	102,000	△14,852,300	0
	特別収益計(8)	5,000,000	10,242,300	741,600	0	△14,852,300	1,131,600
	拠点区分間繰入金費用	195,000	0	14,657,300	0	△14,852,300	0
	その他の特別損失	0	0	13,274,258	0		13,274,258
	特別費用計(9)	195,000	0	27,931,558	0	△14,852,300	13,274,258
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	4,805,000	10,242,300	△27,189,958	0		△12,142,658
繰越活動増減差額の部	収入						
	繰越活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,159,899	9,434,736	△33,351,015	286,496		△17,469,884
	法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0	0		0
	当期活動増減差額(13)=(11)-(12)	6,159,899	9,434,736	△33,351,015	286,496		△17,469,884
	前期繰越活動増減差額(14)	71,794,580	262,685,648	281,534,049	3,483,278		619,497,555
	当期繰越活動増減差額(15)=(13)+(14)	77,954,479	272,120,384	248,183,034	3,769,774		602,027,671
	基本金取崩額(16)	0	0	0	0		0
	その他の積立金取崩額(17)	0	0	0	0		0
	その他の積立金積立額(18)	5,000,000	7,192,000	39,839,600	0		52,031,600
	次期繰越活動増減差額(19)=(15)+(16)+(17)-(18)	72,954,479	264,928,384	208,343,434	3,769,774		549,996,071

東ホーム

子どもたちとともに

道心園のシンボルである桜の木は、今年も立派に花が咲きました。満開の桜の花は、子どもたちや職員はもちろん、地域の方々の心も和ませてくれました。

昨年度には高校卒業生一名が社会へ巣立ちました。今年度は高校生二名、中学生四名、小学生一名、幼稚園生四名が新スタートをきっています。

東ホームは、ユニットでの生活が三年目となります。小さい子が多くとてもにぎやかですが、無邪気な笑い顔や園庭で遊ぶ元気な姿は、私たちを元気にさせてくれます。スポーツやお泊り旅行、山登りなどの行事を通して、皆で楽しみ、共に笑って、子どもたちが幸せな日々を過ごせるように頑張っています。新しい職員も迎え、「ゆずり愛、はげまし愛、たすけ愛」をモットーに、一日一日を大切に、ひとりひとりの子どもに向き合い、寄り添って、共に成長していきたいと思っています。

いつも私たちを支え、応援してくださっている皆様に感謝しております。今後も変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げます。

施設長 武田 久美子



あさがおの家

現在、高校生1名、中学生1名、小学生2名と幼児3名、金魚2匹、カメ1匹で生活しています。カメが卵を産んだと言っては喜び、幼い甘えん坊の児童が多いですが、みんなで協力して毎日楽しく生活しています。

オリーブの家

現在、中学生2名、小学生2名幼児3名の子どもたちが一緒に生活しています。とても賑やかで元気いっぱい、たまにけんかをすることもあります。みんな仲良しです。

さくらの家

現在、中学生1名、小学生4名、幼児2名の計7名の子どもたちが生活しています。元気いっぱいの子もたちばかりなので、毎日とても賑やかです。少し元気がありすぎる所もありますが、どの子もとても素直で可愛らしい子達です。



ポピーの家

現在、幼児2名、小学生2名、中学生2名の、計6名の女の子で生活しています。「いたわり」「思いやり」をモットーに、何事にもチャレンジし、強い芯を持っている女の子たちです。

ジャスミンの家

現在、幼児1名、小学生3名、高校生2名の計6名の女の子で生活しています。皆明るく、元気で、誰にでも優しくできる素的な女の子たちです。

Memories Of This Year

4.30 朝日峠ハイキング

朝日峠ハイキング

朝日峠ハイキングに行きました。太陽が照っている中、子どもたちは一生懸命山を登ります。頂上に着くと、手づくりの昼食を皆で仲良く食べ、その後は芝滑りや鬼ごっこなどとして楽しく遊びました！



4.7 ドッジボール大会

毎年、江戸っ子杯ドッジボール大会に参加しています。日々練習を積み重ね、今年度東ホームは3位という結果でした。子どもたちは、悔し涙を流していました。来年もみんなで力を合わせて頑張しましょう！



5.5 花むろ様招待

今年も花むろ様に招待していただきました。
みんなが大好きな、お寿司やお肉！
お腹いっぱい食べられて大満足！
ごちそうさまでした！



3.17 門出を祝う会

昨年度は3人の子が道心園を巣立っていきました。別れは寂しいですが、どこかうれしくも感じます。たまには顔を見せにきてね！！



西ホーム

施設長挨拶

西ホームも新園舎になり二年目を迎え、子ども達、職員も自分たちのお家という意識ができて、改めて素晴らしい園舎で生活出来ることに日々感謝している所です。子ども達は、入園、入学を迎える子どもと、それぞれに1学年ずつ進級し、新たな学校生活をスタートさせました。昨年度末に小6女子が1名入所になり、今年度に入って中2女子も加わり、全児童29名の子ども達が元気に楽しくみんなで仲良く生活しています。新任の職員も2名が配置になり、子ども達と日々奮闘している所です。新たな職員を迎えて職員相互のチームワークづくりをし、より適切な養育実践を行い、子ども達の「最善の利益」を目指していき、安心、安全で安らぎのある施設づくりをし、木目細やかな支援体制を行っていく所存であります。

日頃より様々な場面で、多くの方々にお世話になつていることに感謝し、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

施設長 横田 直和



楽しかった思い出



3年ぶりのクリスマスの集い

たくさんのお客様でした

西ホームの一大イベントスキー旅行



今年も会えたね！めまじいす♡

スノボに初挑戦



ありがとうございました



監督が一番真剣！！



おかげさまで準優勝



みんなで祝いしました



お招き頂きました



いちご狩り

野球観戦

新しい5軒のお家での生活がスタートしました

各ユニットで今年の目標を立てました

高校生一人、中学生二人
小学生二人の女の子の家です



中学生のお姉ちゃん二人と
ちびっこ5人姉妹のお家です。



中学二年生3人、小学生4人の
お家です。男の子は一人です



クローバー的平和を目指す！！



高校生一人、受験生二人、小4、
幼稚園児の男子5名のお家です

みんな仲良く、やる時はやる！

高校生二人、中学生
3人の男子のお家です



新しい先生たちにインタビューしてみました ① 名前 ② 職種 ③ 星座・血液型 ④ 趣味 ⑤ 抱負

 ①杉山 綾平 ②児童指導員 ③射手座・A型 ④釣り・車・バイク・スノーボード ⑤児童指導員として精一杯頑張る	 ①本田 玲奈 ②保育士 ③うお座・O型 ④裁縫 ⑤子どもたちと共に日々成長できるように努力していきます	 ①米塚 奈々 ②保育士 ③ふたご座・O型 ④映画を見ること ⑤明るく元気に頑張ります	 ①橋本 楓 ②保育士 ③射手座・A型 ④ライフ ⑤親しみやすく、頼れる先生になりたいです
 ①野口 莉沙 ②保育士 ③乙女座・AB型 ④バンド活動・ライフ ⑤子どもたちとの関わりを通して自ら成長できるように学んでいきたいと思います	 ①堀越 映理子 ②保育士 ③天秤座・O型 ④音楽を聴く事・お菓子作り ⑤毎日笑顔忘れずに頑張ります	 ①立見 香奈子 ②栄養士 ③射手座・AB型 ④ジョギング・ジャギス ⑤現状維持	 ①榎引 夏歩 ②非常勤心理士 ③獅子座・AB型 ④アニメ・お菓子作り ⑤子どもたちにとって心理の時間が大切なものになるように頑張ります
 ①能渡 綾菜 ②非常勤心理士 ③さそり座・A型 ④かわいいシール類集め ⑤子どものことをたくさん知れるよう頑張ります	 ①田中 圭 ②非常勤心理士 ③射手座・B型 ④マンガ・アニメ ⑤子どもたちが少しでも心理を好きになってもらえるように頑張ります	 ①藤田 智哉 ②非常勤指導員 ③うお座・O型 ④サッカー観戦・ボウリング ⑤様々なことに挑戦します	 ①仲田 紗羽 ②非常勤指導員 ③かに座・A型 ④マラソン ⑤子どもたちと一緒に楽しく活動したいです

家事支援員さんが来てくれました



久保野谷幸子さん

♥夕方になるといよいよおいが
リビングに広がります！
あさがお T.Y



佐藤あや子さん

♥おいしいごはんをいつも
ありがとうございます！
パンジー A.N



石原 浩子さん

♥今度、お料理教えてください！

なのはな Y.K

年間表彰

平成28年度

全国社会福祉協議会
全国社会福祉大会会長表彰
施設長 横田 直和

平成29年度

全国社会福祉協議会
全国社会福祉大会会長表彰
理事長 河田 茂

東京都社会福祉協議会
児童部会 永年勤続表彰
家庭支援専門相談員 森 智浩